



2017年9月期 第2四半期決算説明会

2017年5月25日

株式会社 学研ホールディングス

アジェンダ

- ◎ 2017年9月期第2四半期決算
- ◎ 2017年9月期業績見通し
 - 1. 2017年9月期業績見通し
 - 2. 中期経営計画「Gakken 2018」進捗状況



2017年9月期 第2四半期決算

株式会社 学研ホールディングス
常務取締役 中森 知

第2四半期連結決算

增收・増益を達成

(百万円)

	16年9月期 2Q累計	17年9月期 2Q累計	増減額	増減率
売上高	52,721	54,980	+2,259	+4.3%
営業利益	2,689	3,091	+402	+14.9%
営業利益率	5.1%	5.6%	0.5%	-
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,643	2,533	+890	+54.2%

売上高 増加要因

- 「医療福祉サービス事業」・・・サービス付高齢者向け住宅（サ高住）・保育園の新規開業、サ高住入居率・保育施設充足率の上昇
- 「教育ソリューション事業」・・・「待機児童解消加速化プラン」に伴う受注増

営業利益 増加要因

- 「教育コンテンツ事業」・・・出版分野の学習参考書好調、児童書大型企画の発刊、返品率・原価率の改善

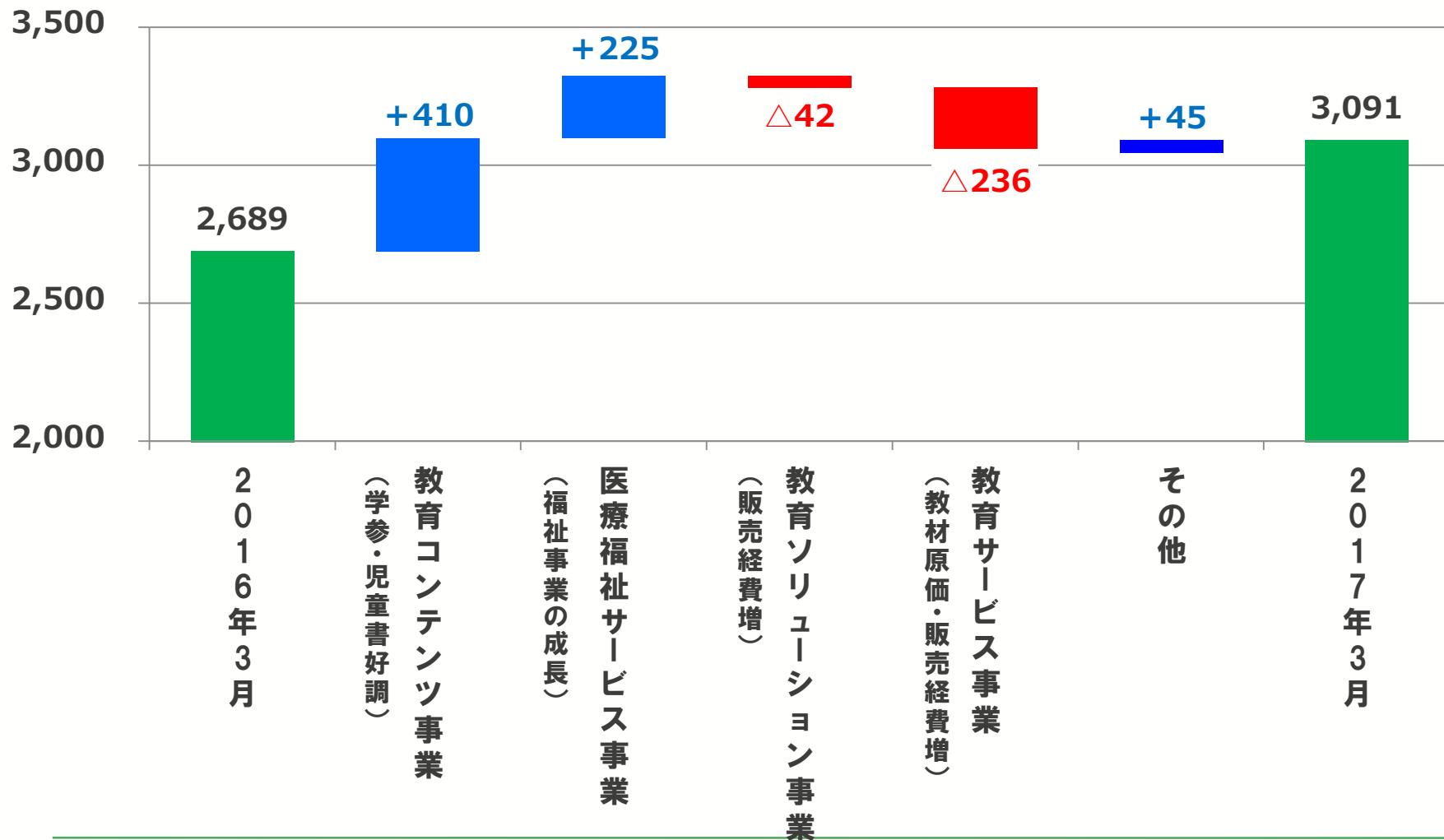
親会社株主に帰属する四半期純利益 増加要因

- 営業利益の増加、特別利益の発生

営業利益増減要因 <前年同期比>

教育コンテンツ事業、医療福祉サービス事業が増益

(百万円)



連結貸借対照表

流動資産：季節要因による売掛債権増

固定資産：不動産流動化による減、投資有価証券増

固定負債：不動産流動化に伴う長期借入金返済

純資産：親会社帰属純利益増

(百万円)

	16年9月末	17年3月末	増減額
資産	流動資産	46,130	53,336
	固定資産	30,253	29,712
	資産合計	76,384	83,048
負債	流動負債	23,907	30,999
	固定負債	19,012	16,369
	負債合計	42,920	47,369
	純資産	33,464	35,679
	負債・純資産合計	76,384	83,048

連結キャッシュフロー計算書

営業CF：利益増加、運転資本増によりほぼ中立、前期比改善

投資CF：不動産流動化などによりプラス

財務CF：借入金返済、子会社株式取得によりマイナス

(百万円)

	17年9月期 2Q累計	主な要因	16年9月期 2Q累計
営業活動によるキャッシュ・フロー	77	税引前当期純利益 (+3,434) 固定資産除売却 (△1,006) 売掛金・棚卸資産・買掛金 (△5,390)	△971
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,959	有形・無形固定資産取得 (△906) 有形・無形固定資産売却 (+3,442) 投資有価証券取得 (△672)	△1,497
フリー・キャッシュ・フロー(FCF)	2,036		△2,468
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,194	短期借入金 (+2,225) 長期借入金 (△2,702) 子会社株式取得 (△1,134) 配当金支払 (△555)	1,527
現金・現金同等物増減額	△96		△949
現金・現金同等物期末残高	14,244		15,462

特別損益明細

	16年9月期 2Q累計	17年9月期 2Q累計
固定資産売却益	0	1,030
その他	-	8
特別利益	0	1,038
固定資産除売却損	12	24
減損損失	2	710
その他	2	28
特別損失	17	763

(百万円)

特別損益の主な内容
・ 教育コンテンツ事業 (株)文理日本社用地売却 674百万円
・ 医療福祉サービス事業 サ高住開発物件流動化 355百万円
・ 教育コンテンツ事業 学研ゼミソフトウェア 316百万円
・ 医療福祉サービス事業 サ高住リース資産 175百万円 保育園8園建物他 112百万円

セグメント別業績

(百万円)

売上高：医療福祉・教育ソリューションなどで大幅増収

営業利益：教育コンテンツ・医療福祉サービス増益、教育サービス減益

セグメント名	項目	16年9月期 2Q累計	17年9月期 2Q累計	増減額	増減率
<教育分野>	売上高	41,858	43,010	1,152	2.8%
	営業利益	2,662	2,794	132	5.0%
教育サービス事業	売上高	13,848	14,376	528	3.8%
	営業利益	883	646	△ 236	△26.8%
	教育コンテンツ事業	売上高	18,356	18,301	△ 54
	教育ソリューション事業	営業利益	1,171	1,582	35.1%
	教育ソリューション事業	売上高	9,654	10,333	678
	教育ソリューション事業	営業利益	608	566	△ 42
<医療福祉分野>	売上高	9,215	10,363	1,147	12.5%
	医療福祉サービス事業	営業利益	66	291	340.9%
その他(調整額含)	売上高	1,647	1,606	△ 40	△2.5%
	営業利益	△ 40	4	45	—
合計	売上高	52,721	54,980	2,259	4.3%
	営業利益	2,689	3,091	402	14.9%

セグメント別業績 ①教育サービス事業

学研教室は月謝改定効果が継続、進学塾は連結に2社加入などで增收減益

●事業概要

- ・幼児から中学生(主に小学生)を対象とした学研教室の運営
- ・幼児から高校生を対象とした進学塾の運営



●増減要因

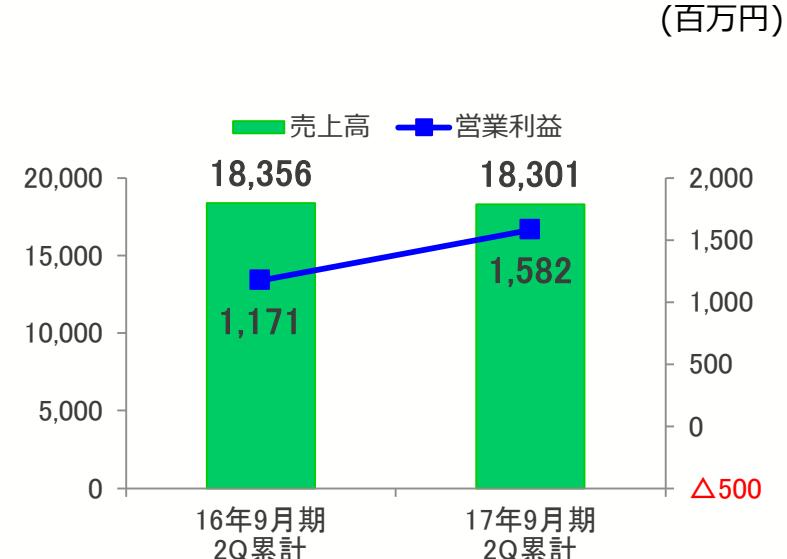
	売上高	営業利益
1. 学研教室	前年4月の月謝改定効果、会員数増	売上増による増益 教材改訂原価・宣伝費等の増加
2. 進学塾	SIGN-1（市進HDとの合併）および コーシン社（超難関国立大学および医学 部受験塾・予備校）の連結子会社化	左記2社の季節要因等による減益

セグメント別業績 ②教育コンテンツ事業

出版分野（学習参考書・児童書）好調、返品率・原価率の改善

●事業概要

- ・取次・書店ルートにおける児童書、学習参考書、大人の学び等出版物の発行・販売
- ・出版と連動したデジタルコンテンツの開発・販売等
- ・文具、雑貨の企画開発・販売



●増減要因

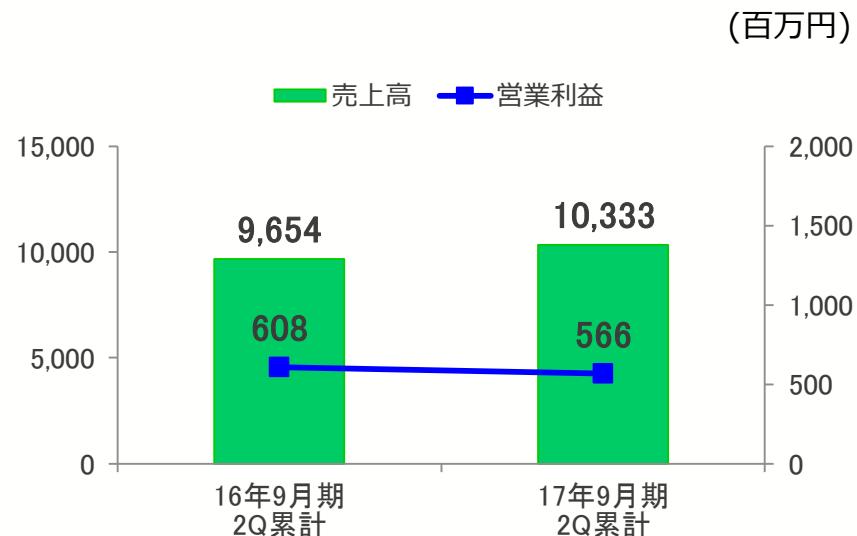
		売上高	営業利益
1. 出版	児童書	児童書の大型企画の発刊	売上増による増益
	学習参考書	学習参考書好調	売上増、返品率・原価率の改善
2. デジタル		電子出版の事業成長	売上増による増益
3. 文具・雑貨		キャラクター文具の販売減	—

セグメント別業績 ③教育ソリューション事業

待機児童解消予算関連商品の受注好調

●事業概要

- ・幼稚園・保育園：出版物や保育用品、備品、園服等の制作・販売。幼児児童向け教室事業
- ・小・中・高：教科書・教科書指導書、副読本、特別支援教材や小論文、模試等の制作・販売



●増減要因

	売上高	営業利益
1. 幼稚園・保育園	待機児童解消予算関連商品（備品・遊具・園舎設計）・ライフスタイル（衣類、ライセンス絵本等）の受注好調 知育教室の会員増	左記の売上増による増益
2. 小・中・高	スポーツ庁全国体力テストの受託 教科書指導書の販売減	商品構成の変化による原価率上昇

セグメント別業績 ④医療福祉サービス事業

医療と福祉の融合により成長加速

●事業概要

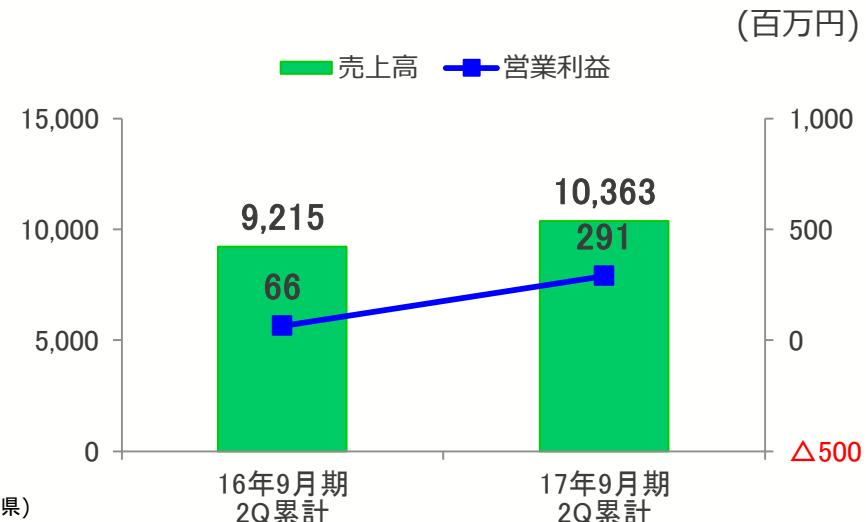
- ・看護書、医学書の発行・販売など
- ・高齢者向け在宅介護サービス拠点など、各種サービスの企画・開発・運営、保育園・こども園などの子育て支援事業の企画・



【3月開業】ココファン勝どき(東京都)



【4月開園】ココファン・ナーサリー浦和前地(埼玉県)



●増減要因

		売上高	営業利益
1. 医療		看護師向けe-ラーニングの契約増	医学・看護書籍のコスト削減
2. 福祉	高齢者福祉	首都圏・西日本エリアの入居率向上 サ高住の9事業所開設	事業所数増加による収益性向上
	子育て支援	保育園の4施設開設 既存園の充足率向上	既存園の充足率向上による売上増



2017年9月期業績見通し

株式会社 学研ホールディングス
代表取締役社長 宮原 博昭



1

2017年9月期 業績見通し

2017年9月期 業績見通し修正

(百万円)

第2四半期までの状況から各利益項目を上方修正

	'16年9月期	'17年9月期		修正 増減額	修正 増減率
		2016/11/14 公表	2017/5/12 修正		
売上高	99,049	103,000	103,000	—	—
営業利益	2,732	2,900	3,000	100	3.4%
営業利益率	2.8%	2.8%	2.9%	0.1%	—
親会社株主に帰 属する当期純利益	1,368	1,600	2,000	400	25%

2017年9月期 業績見通し修正(セグメント別)

(百万円)

セグメント名	項目	計画	修正見通し	増減額	増減内容
<教育分野>	売上高	78,800	78,600	△ 200	
	営業利益	2,300	2,300	-	
教育サービス事業	売上高	28,500	28,600	+100	進学塾 新規連結加算
	営業利益	1,250	1,150	△ 100	学研教室 教材原価・コスト増
教育コンテンツ事業	売上高	※ 33,300	32,800	△ 500	出版外事業未達
	営業利益	650	750	+100	出版事業の採算性改善
教育ソリューション事業	売上高	17,000	17,200	+200	待機児童解消予算獲得
	営業利益	400	400	-	
<医療福祉分野>	売上高	※ 21,200	21,400	+200	福祉事業の新規開業等
	営業利益	550	650	+100	利益率向上
その他(調整額含)	売上高	3,000	3,000	-	
	営業利益	50	50	-	
合計	売上高	103,000	103,000	-	
	営業利益	2,900	3,000	+100	

※2016年11月14日に発表した中期経営計画「Gakken 2018」の売上高を修正しました。

教育コンテンツ事業 34,500 ⇒ 33,300、医療福祉サービス事業 20,000 ⇒ 21,200

グループ合計は変更ありません。



2

中期経営計画 「Gakken 2018」進捗状況

中期経営計画「Gakken 2018」進捗状況

セグメント	方針	進捗状況
教育サービス	教室・校舎の積極拡大とそれを加速させる戦略商品の開発で、将来に向けて磐石の収益体制を構築する	G-PAPILS（自立型・個別学習システム）他戦略商品の試行開始 超難関国立大学・医学部の受験分野への進出
教育コンテンツ	出版からコンテンツ事業への業態転換を推進、事業の多様化を図り、安定的に利益を創出する	学研ゼミリニューアル 学研プライムゼミ配信開始 TOKYO GLOBAL GATEWAY設立
教育ソリューション	商品競争力と提案力の強化により顧客満足度を高め、収益性を向上させる	幼児知育教室事業強化のため教材改訂、英語教室開始 小学校道徳教科書、トップシェアを目指し発行準備
医療福祉サービス	「学研版地域包括ケアシステム」の実現を目指し、事業拡大を推進するとともに、収益力向上を図る	採用力・育成力・定着力・養成力強化 配食サービス・認知症予防教室開始

教育サービス 事業戦略

項目	事業概要	進捗状況
G-PAPILS	ニュートン社のAI（人工知能）を活用した自立型・個別学習システム 問題への正誤情報をもとに、AIが理解度を分析し、最適な学習課題を選択 映像コンテンツと助言や激励を行うメンターが学習者をサポート	一般塾にも導入を進め、全国規模での連携網を形成予定 現在グループ塾で試行運営中 運営教場数 69 会員数 1566
学研教室 ゼミサポコース	学研ゼミの学習ドリル利用者を対象に、学研教室で月1回の学習力ウンセリングを廉価で行うサービス	立上げ準備中
	市進のベーシックウイングの映像授業を活用した新設の高校生コース	立上げ準備中
ロボットプログラミング事業	ロボットプログラミング講座「もののしくみ研究室」としてグループ内外の塾等に販売、学研教室でも開講	立上げ準備中
難関国立大・医学部受験コース	東大・京大をはじめとした超難関国立大学および医学部受験塾・予備校の運営	コーシン社2Qより連結加入 校舎数 4校

教育コンテンツ 事業戦略<学研ゼミ リニューアル>

主戦場をアクティブラーニング分野にシフト

500円からはじめられる
デジタル学習

寡占化が進み
圧倒的 1位企業が存在する市場



英単語学習アプリ

「学力の3要素」を育む
学びと成長の場

今後需要が増す市場



農体験



プログラミング



教育コンテンツ 事業戦略 <学研プライムゼミ>

●事業概要

- ・塾・予備校に対する「ウイングネット」のプラットホームを活用しての映像配信事業
- ・「学研ゼミ」のプラットホームに載せ家庭・個人向けに配信する事業

●進歩状況 <2017.4月末>

- ・10科目76講座、69校 421コマ



教育コンテンツ 事業戦略 <英語教育事業>

2017.2月 TOKYO GLOBAL GATEWAY設立

東京・江東区に英語村開設へ



- 江東に「TOKYO GLOBAL GATEWAY」
- ・ 東京・青海駅周辺に2018年9月開業予定
- ・ 小学生から留学生、学校で使う「実践型英語学習施設」
- ・ 周辺で安心・安全な「グローバル体験」を実現



※ロゴ未定、商標登録申請中

東京都江東区青海
2丁目4-32

TIME24ビル1~3階
約7,000m²



体験型英語学習施設が
2018年（平成30年）9月
東京・青海に誕生！



体験型英語学習施設の特長

英語が飛び交う非日常な世界で成功体験が得られる！

イングリッシュスピーカーとのやりとりやさまざまなプログラムを通して、「わかった！」「通じた！」という英語コミュニケーションの成功体験が豊富に得られます。



イングリッシュスピーカーがずっとナビゲート！

児童・生徒6～8名のグループに1名のイングリッシュスピーカーが付き添います。到着時から施設を出る時まで、英語漬けの環境を体験できます。

英語を話したくなる多彩なプログラムを展開！

海外での日常生活のシチュエーションでの英語コミュニケーションを体験できたり、日本文化やプログラミングを英語でディスカッションしながら学習できたりなど、TGGだからできるプログラムが満載です。



**小学5・6年生・中学生・高校生（特別支援学校を含む）123万人を対象に
年20万人が利用可能な学習施設（都外からの利用、小学4年生以下の利用も可能です）**

教育ソリューション 事業戦略<小学道徳教科書の採択>



平成三十年度「特別の教科 道徳」への移行

副読本で培つた
強みを活かす



教育課程の改訂にあたり、昭和三十二年(一九五七年)から
小学校の教育課程において「道徳の時間」として「道徳の時間」
が特設された。昭和三十八年(一九六三年)、文部省は道徳教育推進校を指定し、各地で指導者養成講座を実施する。

小学校道徳教科書 スケジュール

平成28年	5月	教科書検定申請
	3月	検定合格通知
平成29年	4月	教科書見本提出
	5月	教科書発行者合同説明会（5/19開催）
	8月	採択会議開催、採択決定
	9月	全地区採択結果公表
平成30年	4月	教科書使用開始

今後の流れ

医療福祉サービス 事業戦略<人材育成>

【採用力・育成力・定着力・養成力の強化】

①介護職員初任者研修事業のスタートと保育士養成校の設立準備

2016年9月より介護職員初任者研修事業を開始するとともに、主婦・ひとり親家庭を対象とした保育士養成校の2018年4月開校に向けた準備を開始

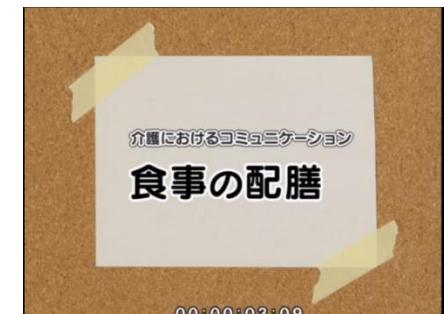


②人材採用・定着への仕組みづくり

フォローアップ研修の隔月開催、全社員面談、リーダー研修の開催、ブロックリーダー会議の四半期開催など経営幹部との接触機会を確保

③医療・福祉のシナジーを活かしたコンテンツ制作

医療・福祉セグメントのシナジーを活かし、
介護職員教育システム開発、訪問看護eラーニング、
保育士教育システムの開発に着手



医療福祉サービス 事業戦略 <新規事業立ち上げ>



学研のあんしん配食

- ・4月より6カ所で事業開始
 - ・1食594円
 - ・ココファンスタッフが配達、
「安否確認」

学研大人の教室

- ・5月現在、8カ所で開催
 - ・自立者向け 1回90分【学び+運動+趣味（アート）】
 - ・費用 5千円/4回分



補足資料

2017年9月期業績見通し

福祉サービス事業 <事業展開の状況>

17年9月期上期の地域別開設状況

開設数	開設地域
高齢者施設	東京都 (1) 神奈川県 (1) 千葉県 (1) 《計3拠点》
子育て支援施設（保育）	(0)
子育て支援施設（学童）	神奈川 (1) 《計1拠点》

17年9月期の地域別開設予定（2016/11 時点）

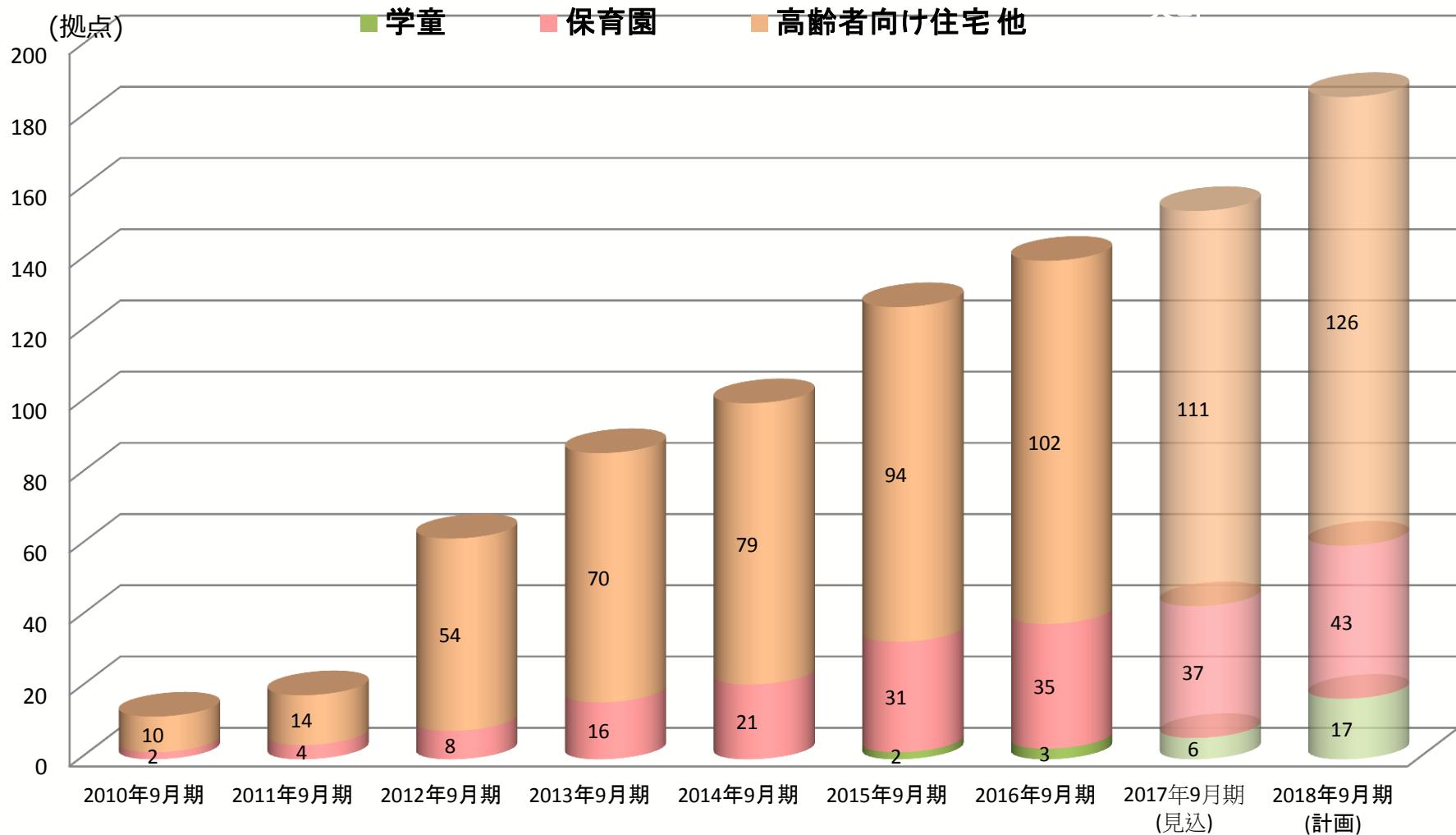
開設数	開設地域
高齢者施設	東京都 (1) 神奈川県 (2) 千葉県 (2) 静岡県 (1) 京都府 (1) 熊本県 (2) 《計9拠点》
子育て支援施設（保育）	東京都 (1) 埼玉県 (3) 《計4拠点》



17年9月期の地域別開設見込（2017/5 現在）

開設数	開設地域
高齢者施設	東京都 (1) 神奈川県 (2) 千葉県 (2) 静岡県 (1) 京都府 (1) 熊本県 (2) 《計9拠点》
子育て支援施設（保育）	埼玉県 (2) 《計2拠点》
子育て支援施設（学童）	神奈川 (3) 《計3拠点》

福祉サービス事業 <開設推移及び予定>



福祉サービス事業 <入居率・充足率の状況>

		16年9月末		17年3月末		17年9月末 見込	
		計画	実績	計画	実績		
高齢者 福祉 事業	首都圏	総戸数	2,425	2,425	2,673	2,673	
		入居数	2,237	2,201	2,401	2,428	
		入居率	92.2%	90.8%	89.8%	90.8%	
	湘南	総戸数	962	962	962	962	
		入居数	871	829	880	851	
		入居率	90.5%	86.2%	91.5%	88.5%	
	西日本	総戸数	1,388	1,346	1,229	1,229	
		入居数	1,131	1,082	1,096	1,032	
		入居率	81.5%	80.4%	89.2%	84.0%	
	合計	総戸数	4,775	4,733	4,864	4,864	
		入居数	4,239	4,112	4,377	4,311	
		入居率	88.8%	86.9%	90.0%	88.6%	
子育て支援事業 (保育園)		定員数	2,178	2,178	2,187	2,187	
		園児数	1,792	1,838	1,825	1,839	
		充足率	82.3%	84.4%	83.4%	84.1%	
						90.8%	

※金沢の2施設を西日本(16年9月期) ⇒ 首都圏(17年9月期)へ移管

本資料には、将来の事業計画に関する記述が含まれております。こうした記述は、当資料の作成時点における経済環境や事業方針等の一定の前提に基づき作成しております。従って、実際の業績がこれらの事業計画とは異なるリスクや不確定要素が存在することを予めご承知おき下さい。

I Rに関するお問い合わせ先

株式会社学研ホールディングス 財務戦略室

〒141-8510 東京都品川区西五反田2-11-8

電話 : 03-6431-1050

FAX : 03-6431-1666